

楽しく伝え合おう（４年）

「みんなで遊ぼう集会」を開こう

学級で話し合おう 学級新聞を作ろう

●指導目標

学級の行事について学級全体で話し合ったり、学級のできごとを知らせる学級新聞を書いたりする。

- 要点や中心点をはっきりさせて、テーマを決めて学級全体で話し合う。話す・聞く
- 知らせたいことが正確に、かつ効果的に伝わるような学級新聞を作る。書く

●教材について

本教材の話すこと・聞くことの学習「学級で話し合おう」は、３年生の学習『グループで話し合おう』を受け、５年生の学習『どちらを選びますか』へとつながっていくものであり、話し合い活動をグループからさらに学級全体へ広めて行うための教材である。書くことの学習「学級新聞を作ろう」は「学級で話し合おう」での話し合いをもとにして行われた学級集会の様子を取材して新聞を書く活動であり、この二つは、相手や目的に応じた言語活動ができるように設定された「話すこと・聞くこと」と「書くこと」を関連づけた伝え合い単元である。

そこで、本実践では、以下のことに留意し、指導にあたることとする。

（１）視聴覚教材での導入

「学級で話し合おう」は、ある学級での具体的な話し合い場面を読み物の形として導入し、児童に親近感をもたせながら話し合いの方法や司会・記録の意義をとらえさせるようにしている。しかし、今回は、教科書の読み物に入る前に、視聴覚教材（ビデオ）の視聴をとおして、話し合いのよさや進め方・注意点に自ら気づかせ、課題意識をもたせて学習を進めていきたいと考えた。

（２）言語活動の場の設定

児童一人一人の話し合いの経験を多くし、確実な力をつけさせるために、グループでの話し合いの中にペアグループ学習を設定したり、学級全体での話し合いの前に学級を半分に分け、話し合いの仕方を学び合う場を設けたりすることとする。また、これらの場の設定により、方法や仕方を学ぶばかりでなく、話し合いをとおして理解が深まっていく楽しさや話し合いに積極的に参加していく態度も育てたい。

（３）話例

話し合いの練習の場を設定するためには、話例の選び方が重要なポイントとなる。グループでの話し合いの場では、ペアグループごとの話例が２題、学級半分に分かれての話し合い練習の場ではそれぞれ２つの話例が必要となる。学級集会ばかりではなく、子供たちの身近な問題を取り上げ、子供たち自身に話例を考えさせていきたい。また、話し合いの練習場面の後、学級全体で共通理解を図る必要のある実の場（『敬老会の出し物を考えよう』）を取り上げ、次の学習「学級新聞を作ろう」につながりをもたせるようにした。

（４）「学級新聞大会」の設定

「学級新聞を作ろう」は、新聞の作り方を学ぶ教材であるが、児童の意欲を喚起するために、『学級新聞大会をしよう』というテーマをもたせて学習を進めていくこととする。そこから、書き手が読み手を意識して、相手や目的に応じた書き方の工夫や効果的な表現が生まれるであろうと考えられる。最後には、「新聞大会」として発表会を行い、互いのよさやがんばりを認め合う場も設定するものとする。また、清書前に、「学級で話し合おう」のグループでの話し合いを生かし、よりよい新聞を作るための話し合いの場を設け、ペアグループとの意見交換をとおして見直しをすることとする。また、一人一人の書く力を高めるため、新聞記事はカード形式とし、どの子も取材や記事を書く学習を行うとともに、修正やまとめをしやすい形の新聞とする。

● 学習指導計画（全 14 時間）

展開・時	過程	学習活動	留意点，評価規準及び方法
次	第 1 時	○「学習のとびら」から，これまでの学習を振り返り，学習のねらいを知る。 ・学級での話し合いや学級新聞作りの経験を想起する。 ・「学級での話し合い」についての学習課題をつかむ。 ・学習計画を立てる。	○これまでの経験から各自の課題，学級全体としての課題をもたせる。 - 関：話し合いに関心を持ち，めあてをもって取り組もうとしている。（発言）
	第 2 時	○視聴覚教材で「グループでの話し合い」や「学級での話し合い」を学ぶ。 ・グループでの分担，話し合いの進め方 ・司会の進め方，話し合いの注意点 ○教材文を読み，学級の話し合いの様子をつかむ。	○視聴覚教材を利用し，話し合った後，留意点をノートにまとめさせる。 - 話聞：話し合いの様子を見て自分なりの意見を発表している。（発言）
	第 3 時	○グループでの話し合いを練習し，ペアグループで話し合いの仕方を学ぶ。 ・グループ A ... 話し合い - グループ B ... グループ A の話し合いを 聞く ・グループ A と B の交替	○ペアグループを作り，互いのよい点を学び合ったり，アドバイスし合ったりする。 - 話聞：自分の意見を適切に述べたり，友達の意見を聞いたりしている。 （自己・相互評価表）
	第 4 時 （本時） ・ 5 時	○学級での話し合いを練習する。 ・話し合い ・学級半分ずつに分かれての話し合い ・成果や克服課題についての話し合い	○学級を半分ずつに分け，話し合いの仕方を学び合うようにさせる。 ○座席表を活用し，メモするようにさせる。 - 話聞：自分の意見がわかるよう適切な言葉づかいで話したり相手の話を聞いている。（自己・相互評価表）
	第 6 時	○「敬老会の出し物を考えよう」について学級全体での話し合いを行う。 ・活動に基づいた話し合い ・感想（よいところ） ○これまでの活動の振り返り	○次時からの学級新聞に結びつく議題について話し合い，学習の成果を確認する。 - 話聞：話し合いの留意点を意識して，発言したり聞いたりしている。 （観察・発言・振り返りカード）

二 次	第 7 ・ 8 時	課題をつかむ・イメージをもつ	○これまでの新聞に関する情報や作った経験を想起し，学級新聞の作り方を学ぶ。 学級新聞大会をしよう。 ・新聞を調べる。 ・新聞作りの手順や割り付け ○記事の内容を考え，工夫点を話し合う。	○学級新聞大会をすることで意欲を喚起し，持続させる。 - 関：学級新聞作りに関心をもち，取り組もうとしている。（観察・ノート） ○さまざまな新聞や学級新聞，教科書をとおして作り方や工夫を学ばせる。 - 書：効果的な構成・表現に気づいている。（ノート）
	第 9 ～ 13 時 12 時 (本時)	情報収集・表現の工夫・表現を高める	○グループで割付用紙を使って，計画を立てる。 ・記事の内容，トップ記事，全体の構成分担の決定，取材方法 ○取材し，記事の下書きをする。 ・取材メモ，記事カード ○グループで見直しをし，他のグループからアドバイスを受ける。 ○記事を手直しする。 ○記事を清書し，新聞を完成する。	○グループでの話し合いを活用し，役割分担や大事なことを話し合わせる。 - 関：すすんで新聞の内容を考えている。（話し合い） - 書：集めた情報をもとに必要な事柄を整理して書いている。（記事カード） ○ペアグループを設定し，相互評価しながら見直しをさせていく。 - 関：記事を互いに読み合い，アドバイスし合っている。（アドバイスカード） - 書：全体のレイアウトを考えて自分の記事の改善点を見つけて手直ししている。（記事カード） - 言：敬体と常体との違いに注意しながら書いている。（記事カード）
	第 14 時	交流・振り返り	○新聞大会をする。 ・発表会，よかったねカード ○単元のまとめをする。	○工夫点を発表し，互いのよさやがんばりを認めさせていく。 - 関：友達の新聞のよさや工夫を見つけ，発表しようとしている。（発表・振り返りカード）

● 本時の展開 (本時 4 / 1 4)

目 標

- ・話の中心に気をつけて聞き，質問したり意見を述べたりすることができる。
- ・互いの考えの相違点や共通点を考えながら，すすんで話し合うことができる。

● 展開例

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評 価 ・ 支 援						
1 本時のめあてを確認する。 学級での話し合いの仕方を練習しよう。 ○話す・聞くめあてを確かめる。 <table><tr><td>話し合いの児童</td><td>・相手の話の内容を受けて，話題に合わせて話をしよう。</td></tr><tr><td>聞き手の児童</td><td>・話の中心に気をつけて聞こう。</td></tr><tr><td></td><td>・話し合いを聞いて，よかったところやアドバイスをしよう。</td></tr></table>	話し合いの児童	・相手の話の内容を受けて，話題に合わせて話をしよう。	聞き手の児童	・話の中心に気をつけて聞こう。		・話し合いを聞いて，よかったところやアドバイスをしよう。		
話し合いの児童	・相手の話の内容を受けて，話題に合わせて話をしよう。							
聞き手の児童	・話の中心に気をつけて聞こう。							
	・話し合いを聞いて，よかったところやアドバイスをしよう。							
2 話し合い（ ）を行う。 ○役割分担の確認 ・司会... 2人 ・記録... 2人 ○話し合いの流れ (1) 議題 (2) 提案 (3) 話し合い (4) まとめ (5) 決まったことを発表 《話し合いの隊形》 記録 司 会 話し合い 聞き手	○学級を話し合いグループと聞き手グループの二つに分け，交互に話し合いの仕方を学ばせる。 ○聞き手グループは，座席表を活用し，メモしながら聞くようにさせる。	話 聞：簡単な話し合いのルールをおさえて，話したり聞いたりしている。(発言) ○話し合いの留意点を確かめて発言するように助言する。 話 聞：話し合いの留意点を意識して，話し合っている。 (発言 ・ 自己評価表) ○友達の見解と比べたり話題の中心を考えたりして発言するように助言する。						
3 話し合いを振り返り，話し合う。 ・よかった点 ・改善点 ・アドバイス	○話し合いグループは，自己評価をもとに発表させる。 ○聞き手グループは，成果や改善点をアドバイスする。	関：話し合いのよさや改善点を見つけ，すすんで意見を述べようとしている。(発言) ○座席メモを活用して発表するように助言する。						
4 次時の学習を確認する。	○次時は話し合いと聞き手を交替することを確認する。							

● 本時の展開 (本時 1 2 / 1 4)

目 標

- ・記事の下書きを読み合い，アドバイスし合うことで，書き直すことができる。

● 展開例

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評 価 ・ 支 援
1 本時のめあてを確認する。		
よい記事にするために，記事を読み合ったり話し合ったりして見直そう。		
2 新聞の書き方の工夫を確認する。 ・トップ記事 ・見出し ・5 W 1 H ・わりつけ ・写真や絵 ・意見，感想 ・記事の文種	○ 7 ・ 8 時の学習ポイントを短冊にまとめ，それをもとに想起させる。	
3 グループ内で記事の下書きを読み合い，話し合う。 ・チェックシート ・まちがいを正す。	○ チェックシートを参考にし，記事を見直させる。 ○ 工夫したこと，迷っていること，出た意見などをまとめておき，次のペア学習で活用させる。	関：友達の新聞のよさや工夫をみつけようとしている。 (記事カード・自己評価表) ○ 短冊をもとに工夫を見付けていくように助言する。 言：文章のよいところを見つめたり，まちがいを正したりしている。
4 工夫した点・直そうとしている点について発表し合い，アドバイスし合う。【ペアグループ学習】	○ 記事カードを新聞に貼り付けて見せ合うことで，全体のバランスも考えさせる。 ○ 付箋を利用させる。	(発言・記事カード) 関：記事を互いに読み合い，アドバイスし合っている。 (話し合い)
5 記事の下書きを手直しする。	○ 話し合ったことをもとに記事を手直しさせる。	書：全体のレイアウトを考えて自分の記事の改善点を見つけて手直ししている。 (記事カード・自己評価表) ○ 記事を手直した後，レイアウトを視覚的に確認するように助言する。
6 書き直した点を発表する。		
7 次時の学習を確認する。	○ 次時に清書することを知る。	

話し合い学習ふり返しカード

氏名()

自分の話し合いをふり返ってみましょう。()

めあて	グループ	学級半分	学級
話し合いにすすんで参加することができましたか。			
相手の話の内容を受けて、 話題に合わせて話すことができましたか。			
自分の意見と友達の意見との同じところや ちがいを考えて、聞くことができましたか。			
話し合いのルールをおさえて、 話し合いをすることができましたか。			

友達の話し合いをふり返ってみましょう。

自分にとって参考になった意見や話し方はありましたか。

月/日	友達の名前	どのようなものか
/		
/		
/		

話し合いの学習をとおして学んだこと・感想を書こう。

/ ざせき 座席メモカード

氏名()

話し合いの内容	
---------	--

記 録

司 会	司 会

1	2	11	12

3	4	9	10

5	6	7	8

今日の話し合いでよかったこと
アドバイスしたいこと
感 想